



## 試合方法

- ・ 男子 60 才の部：試合は1セットマッチ（ノーアドバンテージ方式）。  
2ブロックで予選リーグ戦、ラウンドロビン方式で順位を決定する。  
各ブロック上位2名で決勝トーナメントを行い、順位を決定する。
- ・ 男子 65 才の部：試合は1セットマッチ（ノーアドバンテージ方式）。  
2ブロックで予選リーグ戦、ラウンドロビン方式で順位を決定する。  
各ブロック上位2名で決勝トーナメントを行い、順位を決定する。
- ・ 男子 70 才の部：試合はショートセットマッチ（セミドバンテージ方式）。  
2ブロックで予選リーグ戦、ラウンドロビン方式で順位を決定する。  
各ブロック上位2名で決勝トーナメントを行い、順位を決定する。
- ・ 男子 75 才の部：試合はショートセットマッチ（セミドバンテージ方式）。  
決勝リーグ戦、ラウンドロビン方式で順位を決定する。
- ・ 女子 60 才の部：試合は1セットマッチ（ノーアドバンテージ方式）。  
決勝リーグ戦、ラウンドロビン方式で順位を決定する。

1. 試合はセルフジャッジで行う。（セルフジャッジ5原則の順守）
2. 順位決定は JTA ルールブックに準ずる。
3. 予選リーグ終了後に決勝トーナメント進出者が棄権を申し出た場合、下位者の繰り上げは行わない。
4. 試合開始前、欠員等により予選ブロック間で構成員数に大きな差が生じた場合はドローを変更する事がある。
5. 試合当日の進行状況、天候等で、試合形式を変更する場合がある。

## 表彰

**男子 60 才の部、男子 65 才の部、男子 70 才の部：優勝、準優勝、3 位**  
**男子 75 才の部、女子 60 才の部：優勝、準優勝**

## 試合進行上のお願い

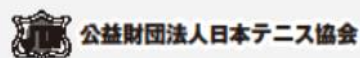
1. 大会進行はオーダーオブプレイに従って行います。但し試合進行状況により変更する場合があります。
2. 連続出場される場合、体調を整える為の適度な休憩の取得を認めます。
3. 会場を一時離れる場合は、必ず本部に届けて下さい。  
コール後 15 分を越えてコートに現われない時は棄権と見なします。
2. ドロー表上位の選手は試合前に審判用紙とボールを本部に取りに来て下さい。  
試合終了後、勝者が試合結果を記入した用紙とボールを本部に持参して下さい。  
スコアボードは、ドロー表上位の選手を赤とします。
5. 試合前の練習は最初の試合のみ 5 分間、その後はサーブ 4 本のみとします。
6. サーバーはカウントを相手に聞こえるよう、はっきりコールをして下さい。判定が難しい場合は相手に有利になるようにジャッジして下さい。
7. ボールは原則 3 試合に使用するが、その消耗状態を見て適宜判断する。

### **注意事項**

1. 試合当日の事故等は、全て自己責任とし、県テ協・会場管理者・対戦相手等の関係者は事故の責任を負わないものとする。準備運動等自己管理をお願いします。
2. 体調の不調を感じた時はただちに試合を中止し、勇気をもって棄権してください。

もしもの時の連絡先を記入し、保管をお願いします。
緊急連絡先名
電話（携帯等）
続柄等他

ジュニアテニス選手皆様へ  
一般・ベテランテニス選手の皆様へ  
指導者・保護者の皆様へ  
大会主催者の皆様へ



## テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。



セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。

### セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- 2 「アウト」または「フォルト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- 5 コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。